

第3学年家庭科学学習指導案

日時 平成17年11月16日(水)5校時

学級 3年2組

男子19名 女子19名 計38名

授業者 熊谷 信子

1. 単元名 家族と家庭生活(中学生になるまで/子どもの成長)

2. 単元設定の理由

今日、科学技術や産業の目覚ましい進歩は、私たちの生活に物質的な豊かさ、便利さをもたらした。産業構造の変化は、家族の形態を多様化させ少子化を進行させている。少子化が危惧される中、子どもを育てる心身の準備も、経済的な準備もないままに子どもを産む十代の少女が増え、それが幼児虐待の一因となっていることも否めない。

幼児と日常的に接する機会の少ない中学生に、異世代である幼児の発達の学習を介して、「発達してきた自分、現在の自分、そしてこれからも発達して行く自分」を見つめさせ、「育てられて いる」時代にある中学生が、「育てること」を学ぶ場としたい。また、幼児が成長するためには、家族や周囲の人々に支えられることを理解させ、「人間」が「人間らしく育つ」ため、家族がどう 幼児とかがかわって行けばよいか考える時機としたい。

中学3年生という時期は、自分の将来について否応無しに考えなければならない時期である。この時期に自分を振り返り、自分の成長や家族とのかかわりを見つめ直すことは、生徒にとって大切なことであると考え。生徒自身が、今の自分にできることや自分の意外な面に気づき、将来、どう生きて行くべきかを考える機会と捉えさせたい。

3. 生徒の実態

男女ともに明るく、活発に話し合いのできる学級である。授業に対して、真剣に取り組み、実習や作業など自然に班で協力しあっている。学習の遅れがちな生徒もあるが、班の中で適切なアドバイスをし、手助けをしてくれる生徒が多い。

事前調査から、幼児と生活している生徒はおらず、親戚の子どもか近所の幼児と時々接する機会のある生徒が14名。幼児と遊んだ経験のある生徒は8名。幼児が好きと答えた生徒は14名である。幼児の世話をしたことはないが、幼児期の保育は父親と母親があたるのが望ましいと29名の生徒が答えている。また、「幼児の成長」の導入で用いた「狼に育てられた少女」について、その成長過程に興味を持った生徒やシングル牧師夫妻の人間性に感銘を受けた生徒が多く、人間らしく育つためには何が必要かと真剣に考えられる学級である。

4. 単元の指導計画

家族と家庭生活

中学生になるまで

1時間

子どもの成長

1

幼児と遊び

1. 遊びの中で育つ

1時間

2. 遊びと発達

1時間

3. いろいろな遊び

4時間

2

幼児の成長

1. 体の発達

1時間

2. 心の発達

2時間

3. 生活習慣を身につける

1時間

3

子どもと家族や周囲の人びと

1. 子どもと家族のかかわり 2時間(本時 1/2)

2. 子どもの成長を支え合う 1時間

5. 本時の目標

動物の親子の観察から、幼児の発達に家族のかかわりが大きいことに気づく。

幼児の発達を支える親の基本的な役割について理解する。

○ 本時の評価基準

生活や技術への関心・意欲・態度()	生活や技術についての知識・理解()
A: 幼児の発達を支える親の役割について考え	A: 幼児の発達を支える親の役割と重要性について

ようとしている。	説明することができる。
B：幼児と親のかかわりについて考えようとしている。	B：幼児の発達を支える親の役割を説明することができる。

6. 本時の展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点	評価 ・ 資料
導入 15分	<p>1. 動物の親子のDVDを視聴して、感じたことを発表する。</p> <p>2. 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 幼児の発達と家族（親）の役割について考えよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コヨーテ、北極狼の子育てのDVDを見せて、その感想を発表させる。 ・ 苛酷な自然の中で子育てをする親の姿に注目させる。 ・ 本時の課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ DVD 動物の親子の観察から、親のかかわりの大切さに気づいたか。 ・ ワークシート
展開 25分	<p>3. 狼に育てられた少女と人間の親に育てられた子どもの生活習慣の違いに着目し父親・母親の役割を考える。</p> <p>4. 班毎に話し合い、親の役割を色画用紙に書き出す。</p> <p>5. 話し合ったことを発表する。</p> <p>6. 子育てをしている親のアンケート結果から、親の役割について考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学習でまとめた『幼児の成長』の表を参照し、幼児と家族（父親・母親）の役割を考えさせる。 ・ 男女の立場で書き分けさせる。 ・ 男子から母親に、女子から父親にして貰いたいことを考えさせ、記入させる。 ・ 黒板に掲示させる。 ・ 班毎に記入した事項について、理由を加えて発表させる。 ・ アンケート結果から幼児の発達に親がどのようにかかわり、役割を果たしているかを理解させる。 ・ 幼児の保護、情緒の安定、言語や社会性の獲得などがあることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙板書 ・ ワークシート ・ 色画用紙 ・マジック 家族が幼児の成長を支え、大きな役割を果たしていることに気づいたか。 ・ 紙板書 幼児の発達を支える親の基本的な役割を理解できたか。
終末 10分	<p>7. 本時のまとめ</p> <p>本時の学習内容をもとに、自分の幼児期を想起し、これから身近な幼児にどのようにかかわっていけるかを考え、ワークシートにまとめる。</p> <p>8. 次時の学習内容の確認。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の家庭状況に配慮しながら、幼児期を振り返らせ、これから身近にいる幼児にどのようにかかわっていけるかを考えさせワークシートに記入させる。 ・ 次時の学習内容と準備の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート

3 子どもと家族や周囲の人々

学習日 月 日 ()

3年4組 番 氏名

1. コヨーテの親子と北極狼の親子の様子を見て、どんなことを感じましたか？

今日の課題：幼児の発達と家族(父親・母親)の役割について考えよう。

2. 狼に育てられた少女と人間に育てられた幼児の生活習慣の違いを考えながら、父親・母親の役割を考えよう。

父親の役割：

母親の役割：

男子(父親)の立場から母親にしてもらいたいことは？

女子(母親)の立場から父親にしてもらいたいことは？

3. 親の人達はどんな役割を果たしているでしょう？(アンケートから分かったこと)

4 . 自分の幼児期を思い出しながら、今、身近な幼児に自分がどのようにかかわっていけるか考えましょう。

